

国際文化学科履修系統図(2024年度以後の入学者)

育成人材像

国際社会に適応しリーダーシップを発揮できる人材を育成します。そのためには、国際的な視野、語学力と異文化理解力、柔軟な発想と行動力が欠かせません。国際文化学科では、学生のこうした力の向上を目指して、教育をおこないます。

育成能力

読む・書く・話す・聞くの四技能を基礎から上級まで学ぶことで、実践的な英語力を身につける。
DP4一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。
DP7異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。

英語以外の諸言語を第二外国語として学び、そのコミュニケーション能力を身につける。
DP4一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。
DP7異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。

情報社会で必要とされるパソコンやインターネットなどに関する知識と技能を修得し、実務能力を養う。
DP6必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。

日本文化を世界的視野で捉え直す。また、世界の文化を概括的に学んだうえで日本との比較により理解を深める。

DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

社会と文化の視点から日本と諸地域の関係性を学ぶ。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

各国・各地域の歴史の知識を習得したうえで、日本と諸地域の文化交流史を学ぶ。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

各地域の文学を学んだうえで、日本文学へ影響やグローバル社会における新しい文学のあり方を知る。
DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
DP2世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。

コミュニケーションの基礎を学び、さらに異文化間コミュニケーションの基礎能力を育成する。
DP7異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。

英語と日本語の知識と教育、その関連領域を学び、言語を用いる専門技能と教育の場における実践力を育成する。また、中国語と韓国語の会話能力の習得を基盤として日中・日韓の翻訳・通訳の基礎知識と技法の基本を習得する。
DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
DP5日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くとともに、自らの見解をわかりやすく伝達することができる。

英語

Fundamentals of English I
Fundamentals of English II
Oral Fluency I
Oral Fluency II
English for Advanced Studies A
English for Specific Purposes A
TOEIC Preparation A
TOEIC Preparation B
Basic Writing Skills I
Intermediate Practical Discussion Skills I

Oral Fluency III
Oral Fluency IV
English for Advanced Studies B
English for Specific Purposes B
TOEIC Preparation C
TOEIC Preparation D
Basic Writing Skills II
Intermediate Practical Discussion Skills II
Intermediate Writing Skills I
Intermediate Reading Skills I

Topics for Cross-cultural Communication: Global Issues A
Topics for Cross-cultural Communication: Global Issues B
English for Advanced Studies C
English for Specific Purposes C

Spoken Business English
English for Advanced Studies D
English for Specific Purposes D

Intermediate Writing Skills II
Intermediate Reading Skills II

Advanced Practical Discussion Skills
Business English Writing
Advanced Reading Skills

第二外国語

韓国語 I
韓国語 II
韓国語検定演習A
中国語 I
中国語 II
ドイツ語 I
ドイツ語 II
フランス語 I
フランス語 II
スペイン語 I
スペイン語 II
ハンガリー語 I
ハンガリー語 II
ポーランド語 I
ポーランド語 II
チェコ語 I
チェコ語 II

韓国語 III
韓国語 IV
韓国語検定演習B
中国語 III
中国語 IV
ドイツ語 III
ドイツ語 IV
フランス語 III
フランス語 IV
スペイン語 III
スペイン語 IV
ハンガリー語 III
ハンガリー語 IV
ポーランド語 III
ポーランド語 IV
チェコ語 III
チェコ語 IV

韓国の言語・文化・社会A
韓国の言語・文化・社会B
韓国語検定演習C
中国の言語・文化・社会A
中国の言語・文化・社会B
ドイツの言語・文化・社会A
ドイツの言語・文化・社会B
フランスの言語・文化・社会A
フランスの言語・文化・社会B
スペインの言語・文化・社会A
スペインの言語・文化・社会B
ハンガリーの言語・文化・社会A
ハンガリーの言語・文化・社会B
ポーランドの言語・文化・社会A
ポーランドの言語・文化・社会B
チェコの言語・文化・社会A
チェコの言語・文化・社会B

情報

デジタルアプリA
デジタルアプリB

データサイエンス I
Multimedia Production

地域文化比較

国際文化入門
日本の伝統文化
日本の現代文化
世界の中の日本

日本民俗学

日本文化論
Variable Topics in Culture and Society in Japan
Selected Topics in Japanese Manga and Animation

日中比較文化
日韓比較文化

アメリカ文化概論
中国概論
韓国現代文化

異文化理解
比較文化概論
文化人類学

文化遺産

社会

社会学入門
韓国の社会
ドイツの社会と文化
中欧の社会と文化

日本とアジア
日本と北米
日本と中南米
日本とヨーロッパ

多文化社会論

中欧地域文化研究

歴史

歴史・文化の視点
外国史概説
日本の歴史A
日本の歴史B
韓国の歴史
中国の歴史
アメリカの歴史
ラテンアメリカの歴史

文化交流史(日本・アジア)
文化交流史(日本・欧米)

文学表現

日本文学概論
アメリカ文学概論

日本文学史
韓国の文学
近代イギリス文学

日本の文学(古典)
日本の文学(近・現代)
Images of Japan: Literature and Film
漢文講読

コミュニケーション

国際コミュニケーション入門
コミュニケーションの基礎

異文化間コミュニケーション論
International Communication

異文化適応論

言語学

日本語学
日本語教授法
翻訳通訳

言語学概論
日本語学概論A
日本語学概論B
日本語表現
英語学概論A
英語学概論B

日本語の音声
日本語の語彙・意味
日本語の文法A
日本語の文法B

言語学
日本語教授法(教授法)
日本語教授法(教材・教具)
第二言語習得論
社会言語学

日本語教育事情
日本語教育実習 I
日本語教育実習 II

Language Acquisition

翻訳の基礎(英日)

日中翻訳技法 I
日中通訳技法 I

日中翻訳技法 II
日中通訳技法 II

中国語コミュニケーション I

中国語コミュニケーション II

韓国語コミュニケーション(話す・聞く) I
韓国語コミュニケーション(書く・読む) I

韓国語コミュニケーション(話す・聞く) II
韓国語コミュニケーション(書く・読む) II

韓国語コミュニケーション(話す・聞く) III
韓国語コミュニケーション(書く・読む) III

		日韓翻訳技法Ⅰ 日韓通訳技法Ⅰ	日韓翻訳技法Ⅱ 日韓通訳技法Ⅱ	
視覚文化 芸術	視覚文化論 日本美術 西洋美術	書道(書写中心)		絵画・映像文化に関する基礎知識を習得し、視覚文化・表象文化の読み解き方を学ぶ。 DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
ジェンダー論 女性学 家族論	ジェンダー論 家族論 アジアの女性論			現代社会を女性という観点から学び、その問題と解決策を考える力と自らのキャリアを形成する力を養う。 DP3自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
政治 法律 経済 ビジネス	政治学入門 日本国憲法 法律学概論 ビジネス入門	経済原論A 経済原論B アジア国際関係論	国際法 国際経済学 国際関係論	国際教養として国内外の政治・経済・法律等を学び、日本とグローバル化社会の社会的基礎を身につける。また、特に、日本の隣国であり、経済的影響も大きい中国の経済・産業・ビジネスに焦点を当てる。 DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
宗教・倫理 地理		宗教学概論 倫理学概論 地理学A 地理学B	地誌	人間や文化を知る視点として宗教・倫理・地理を学ぶ。 DP1文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
博物館学 生涯学習	ミューゼオロジー入門 生涯学習論	ミュージアムと展示 ミュージアムと情報・メディア ミュージアムと教育	ミュージアム・マネジメント ミュージアムの資料 ミュージアムの資料保存	文化資源の保存や活用を行う機関として博物館・美術館およびその業務について学ぶ。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
演習	基礎演習A アカデミック・スキルズ	基礎演習B	基礎演習C キャリア形成演習	国際文化演習Ⅰ → 国際文化演習Ⅲ 国際文化演習Ⅱ 国際文化演習Ⅳ 卒業論文 卒業制作
国際文化コース	英語演習ⅠA 英語演習ⅠB	英語演習Ⅱ クリティカル・リーディングA クリティカル・リーディングB 国際文化プロジェクト		協働学習によって特定地域の文化・歴史等について調査し、リサーチ力、読解力、編集力、発信力、コミュニケーション力を高める。 DP6必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
韓国語コース	韓国語プロジェクトA	韓国語プロジェクトB		自分がおかれている社会の中で、自分が設定した課題について、韓国語を活用し、他者と協働しながら解決する力を育成する。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
研修 インターンシップ	留学プランニング 国際文化研修A 国際文化研修B コミュニケーションインターンシップ			海外研修によって外国語でのコミュニケーションとその地域の文化と社会を体験し、自らの視野を広げる。その体験を長期の留学や海外インターンシップでの活動に発展させ、国際社会で活動する基礎能力を育成する。 DP4一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。 DP8習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。
スポーツ	スポーツ科学A スポーツ科学B	生涯スポーツ概論		スポーツを、健康や生涯学習と関連させながら学び、実践するための基礎力を身につける。
		全学部基盤共通科目群 キャリア形成科目群 学部コア科目群Ⅲ 外国語科目群 専門基礎科目群 専門科目群Ⅰ(国際文化) 専門科目群Ⅱ(韓国にかかわる言語・文化・社会) 専門科目群Ⅲ(ゼミ研修・実践) 専門科目群Ⅳ(言語・文化・社会関連)		